

モデル児童図書リスト(幼児)

令和 7 (2025) 年 4 月発行 福岡市総合図書館 こどもとしょかん

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-7-1 TEL 092-852-0621 <https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>



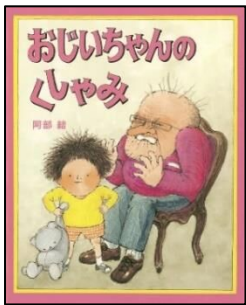
**あきのおさんぽ
いいものいくつ?**
おおたぐろ まり／さく
福音館書店 2023 年 Eア

あき もり 秋の森をおさんぽしよう。そら おお とり 空に大きな鳥が 1 羽、あお とり 青い鳥が 2 羽…数をかぞえながら森の奥へと進もう。
やさしく、あたたかい言葉と、美しい絵が、まるで森の中を一緒に
おさんぽしている気持ちにさせてくれる。絵の中にたくさん
の秋を見つける、さがし絵絵本としても楽しめる。



あめがふってきたよ
メアリー・サーフォゾ／文
ケイコ・ナラハシ／絵
木坂 涼／訳 徳間書店
2023 年 Eア

ぽつぽつ、ぽつん、ぱらん、ちゃぽつ、ぴちゃ、ちゃぱ、
す〜い、ざざざー。雨の日に耳をすますと、いろんな音が聞
こえるよ。土のにおい、池にできたわっかもよう、五感を使
って体いっぱい雨を楽しもう。
豊かな響きの言葉と、水彩画の優しい色合いのイラスト
がこちよい絵本。



**おじいちゃんの
くしゃみ**
阿部 結／作
福音館書店
2023 年 Eオ

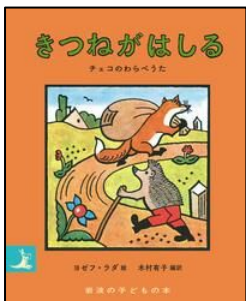
おじいちゃんの大きなくしゃみは大迷惑。おじいちゃん
はこのくしゃみで、りんごを木から落としたり、猛獣を追ひ
払ったり、どこかに飛んでいくことだってできるっていうん
だけど、そんなのうそだよな！

おじいちゃんと孫のゆかいな絵本。



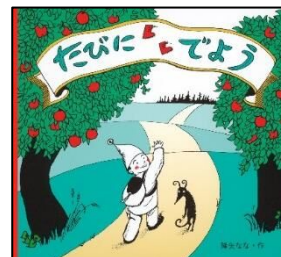
**おふろ
おじゃまします**
たしろ ちさと／著
文溪堂
2023 年 Eオ

おふろが大好きなたろちゃんとかばちゃんが、いろんな
動物のおふろに出かけます。うさぎにぶた、しかにたこ。
あなたはどのおふろに入りたい？
絵はひろ々として気持ちよく、その上細かい所もかわいく
て、親子で楽しめます。



きつねがはしる
チェコのわらべうた
ヨゼフ・ラダ／絵
木村 有子／編訳 岩波書店
2023 年 Eキ

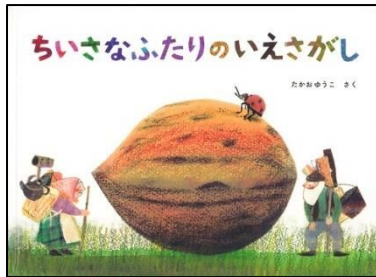
表題作「きつねがはしる」や、チェコの子どもなら誰でも歌え
る「こいぬとこねこ」など、チェコのわらべうたが 1 ページにひ
とずつ 38 編入った絵本。チェコの国民的画家、ラダのさし絵は
ユーモラスでくすくと笑える。声に出して読んでも楽しい。



たびにでよう
降矢 なな／作 童心社
2023 年 Eタ

たびにでよう、たびにでよう。リュックをせおって、
あるいていこう。
男の子と犬が旅に出る。旅では不思議なことばかり。
小さくなったり、大きくなったり、魚になったり。
楽しい絵から想像がふくらむ絵本。

裏へ続きます



ちいさなふたりの いえさがし

たかお ゆうこ／さく

福音館書店 2023 年 Eチ

大きなひょうがふってきて、くるみの家がこわれてしまった。ちいさなおじいさんとおばあさん。ふたりはたんぽぽのわたげにつかまって、新しい家を探しに出た。いちごの家、すいかの家と次々に見つけるが、どれもうまくいかず。最後にふたりが見つけた家とは？



つきみのまつり

羽尻 利門／作

世界文化ブックス

2023 年 Eツ

幼い姉弟がお母さんと山の上にある神社の月見のお祭りへ。並んだ屋台、見下ろす街あかり、奉納される舞や調べに山の生き物たちも姿を見せる。満月の夜の幻想的な絵は、作者の遊び心と文字探しのお楽しみつき。



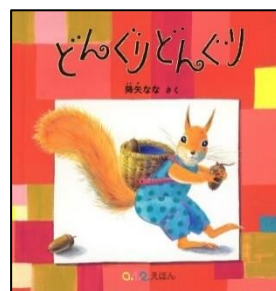
とってもすてきな うちです

ながわ ちひろ／文

高橋 和枝／絵 アリス館

2023 年 Eト

とってもすてきなうちです。ちょうちょのうちははらぺこの子どもたちが大喜びのまるごと食べられるうち。だけどクモがにらんでる。クモのうちは、雨上がりにきらめくしずくがダイヤモンドのくびかざりのよう。だけど春にはツバメが飛んでくる。じまんのわがやをご紹介します。



どんぐりどんぐり

降矢 なな／さく

福音館書店 2023 年 Eド

赤ちゃん絵本

かあさんりすが森でどんぐりひろい。ひとつ、ふたつ、みつつ、よつつひろったところで…おっとっと、木の根につまずきどんぐりがおっこちた！家で待つ子りす達に無事にどんぐりを持ち帰ることができるかな？厚紙絵本なので、赤ちゃんや、おでかけのおともにもおすすめ。



どんなくるまに のるでしょう？

鈴木 まもる／作 小峰書店

2023 年 Eド

こんな人は、どんなくるまにのるでしょう？あなをほる人はショベルカー、かじをけす人はしょうぼうしゃ。いろいろなお仕事、いろいろな人たちが乗る車をご紹介します。みんなは、どの車に乗りたい？



ぼくのじゃがいも

ジョシュ・レイシー／作

モモコ・アベ／絵

みやさか ひろみ／訳 こぐま社

2023 年 Eボ

ペットがほしいアルバートにパパがくれたのは、じゃがいも！「おじゃが」と名づけて一緒に遊ぶが、やがておじゃがは傷んで土にうめられることに…。かわいい「おじゃが」とアルバート、さまざまな登場人物のイラストも楽しい。

大人の方へ

初めて本と出会い、本の楽しさを知る幼児期に読んでもらいたい本のリストです。「読んで」とお願いされたら、ぜひ一緒に読んであげてください。

※選定にあたっては、おはなし会ボランティア「福岡おはなしの会」にご協力いただきました。

モデル児童図書リスト(小学1・2年生)

令和7(2025)年4月発行 福岡市総合図書館 こどもとしょかん

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-7-1 TEL 092-852-0621 <https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>



あさがおとはるくん
キッチンミノル／さく
PHP 研究所 2023 年 E ア



うみのたからもの
たかお ゆうこ／作
加瀬 友喜／監修
講談社 2023 年 E ウ

近所のおねえさんからあさがおのタネをもらったよ。どんな花がさくんだろう。はるくんはタネを植えてみた。

はるくんが育てたあさがおの成長を記録した写真絵本。あさがおを育てるときのワンポイントアドバイスも紹介。みんなもあさがおを育ててみよう！

海辺で見つけた貝がらから想像する。貝がらの中の家、海の底の世界、海の上に広がる夜空。

たくさんの資料をもとに描かれた美しい絵と、リズムのある文章が、私たちをきらめく想像の世界へとつれていってくれる絵本。

「うみべに いったら かいがらを さがそう」



お日さま おそい みんなもおそい
フィリップ・C. ステッド／文
エリン・E. ステッド／絵
金原 瑞人／訳 カクイチ研究所
2023 年 E オ

夜明け前。「お日さまがおそい」と言い合うラバとメウシとポニー。お日さまがおそいと朝ごはんもおそくなる。フクロウから、お日さまを起こしにオンドリを連れて世界の果てまで行くよう助言された3匹は、思いきって歩き出した。

ちょっととぼけたお話と、優しい色合いの絵が楽しい絵本。



かぜがつよいひ
昼田 弥子／作
シゲリ カツヒコ／絵
くもん出版 2023 年 E カ

今日は風が強いので、きょうだいふたりはお家でしりと。「しんぶんし、しゃつ、つりざお。」あれあれ、窓の外に同じものが飛んでるよ。

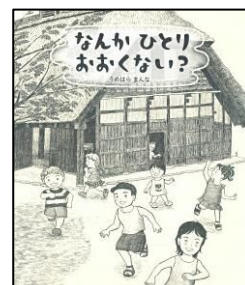
奇想天外な想像力あふれる迫力満点の絵が魅力のしりと絵本。



クリスマス マーケット
ちいさなクロのおはなし
降矢 なな／文・絵 福音館書店
2023 年 E ク

町の広場のクリスマスマーケット。真っ黒な捨て犬のクロは市場の皆に可愛がられる。ある日、なーちゃん親子が買い物にきた。クロはなーちゃんが落としたぬいぐるみを届けようと懸命に探し回る。

温かい絵が伝えるクリスマスストーリー。



なんかひとりおおくない?
うめはら まんな／作 BL 出版
2023 年 E ナ

かやぶき屋根のじいちゃんちで、いとこたちとすごす夏休み。かくれんぼ、ドッジボール、すいか割り…。にぎやかに遊んでいると、あれ?なんかひとりおおくない?

ちょっぴり不思議で温かいお話。モノクロですみずみまで細やかに描かれた絵は版画ならではの味わい。

裏へ続きます



パパはたいちょうさん
わたしはガイドさん
ゴンサロ・モウレ／作
マリア・ヒロン／絵 星野 由美／訳
PHP 研究所 2024 年 E パ

目の見えないパパは、かすかに見えるわたしを「ガイドさん」と呼ぶ。でも、パパこそわたしの「たいちょうさん」。ふたりで行く通学路は、光と影と音のジャングル。ジャガーやライオンの走る音、ざわざわというオウムの鳴き声。

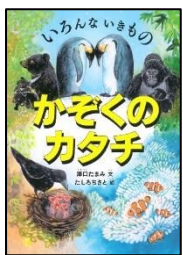
五感で感じている世界を、色あざやかに描き出したスペインの絵本。



リジーと雲
テリー・ファン／作
エリック・ファン／作
増子 久美／訳 化学同人
2023 年 E リ

雲を買ったリジーは「おせわのしかた」とおりに水をあげ、散歩につれていき、大切に育てる。「ぜったいにとじこめないでください」と書いてあったけれど、雲はリジーの部屋におさまらないほど大きくなってしまふ。そんな雲を見てリジーは…。

雲を愛しく思うリジーの気持ちが伝わる絵本。



いろんないきものかぞくのかたち
澤口 たまみ／文 たしろ ちさと／絵
福音館書店 2023 年 481 頁

カラス、ペンギン、クマノミ、クマ、ゴリラは、どうやって暮らしているのだろう。赤ちゃんを育てているのだろう。

全ページに描かれた温かい絵も生きもの達の姿をわかりやすく伝えてくれる。「解説かぞくのヒミツ」もおもしろい。



一年一組せんせいあね
こどものつばやきセクション 鹿島
和夫／選 ヨシタケ シンスケ／絵
理論社 2023 年 911 頁

「1 にち 24 じかん みじかすぎる だれがきめたんや」子どもたちの素直な言葉に共感したり、笑ったり。ヨシタケシンスケの絵が、子どもたちの言葉にぴったりと寄りそっている。子どもも、もと子ども親子で一緒に楽しめる。

1980年代に 1年1組の子どもたちが書いた日記ノートから生まれた詩集。



ウィリアムの子ねこ
マージョリー・フラック／作・絵
まさき るりこ／訳 徳間書店
2023 年 93 頁

4才のウィリアムが見つけたまいごの子ねこ。警察署へ届けると、子ねこを探している人は 3人。郵便局のフィニーさん。食料品店のスミスさん。薬局のプールさん。

さて、いったい誰が子ねこの本当の飼い主なのかな？



チビにいちゃんと0ちゃん
エディス=ウンネルスタッド／文
小宮 由／訳 さこ ももみ／絵
瑞雲舎 2023 年 94 頁

5才のチビにいちゃんは7人きょうだいの6番目。おもちゃのアヒルを探しに、一人きりで凍った海に浮かぶ船まで歩いて家族をハラハラさせたり、3才のすえっこ0ちゃんの寝顔をかわいくしようとインクでお化粧してあげたり。好奇心旺盛なチビにいちゃんの楽しいお話が5話。続編もあり。

大人の方へ

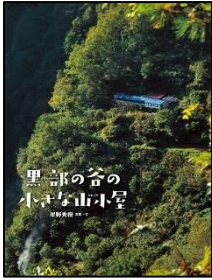
生活の中心が家庭から学校へと移り変わる低学年の時期に読んでもらいたい本のリストです。文字を覚え始める時期ですが、まだまだ大人と一緒に本の世界を楽しみたいと思っている子どもたち。ぜひ一緒に読んであげて下さい。

※選定にあたっては、おはなし会ボランティア「福岡おはなしの会」にご協力いただきました。

モデル児童図書リスト(小学3・4年生)

令和7(2025)年4月発行 福岡市総合図書館 こどもとしゃかん

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-7-1 TEL 092-852-0621 <https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>



黒部の谷の小さな山小屋

星野 秀樹／写真・文

アリス館 2023年 Eク

断崖絶壁、トンネルの山道を6時間歩いた先に建つ山小屋。この山小屋は7月から10月までお客様を受け入れた後、11月に解体される。次に小屋が建つのは翌年の6月だ。登山客のために、山道を整備し山小屋を建てる人々の姿を記録した写真絵本。



寓話に生きた人イソップ

その人生と13の物語

イアン・レンドラー／文

パメラ・ザガレンスキー／絵

山下 愛純／訳 化学同人

2023年 Eグ

古代ギリシャで奴隷として生まれたイソップは、主人を怒らせずに真実を伝えるために、知恵を働かせて多くのたとえ話を語った。彼の生涯と「ウサギとカメ」「北風と太陽」など13の物語を、美しいさし絵と共に描いた伝記絵本。

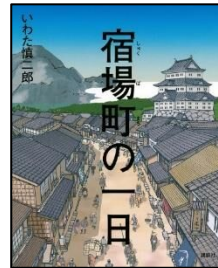


コブシメがやってきた!

高久 至／写真・文

アリス館 2023年 Eコ

屋久島の海を、忍者顔負けの変身術で生き抜く大型イカのコブシメ。初夏のある夜、サンゴの産卵と、コブシメの卵のふ化とが重なる。奇跡の瞬間をとらえた数々の写真が美しい。



宿場町の日

いわた 慎二郎／作・絵

講談社 2023年 Eシ

江戸時代の「はたご屋」と呼ばれる旅館が集まる宿場町の日を描いた絵本。はたご屋一泊170文は今の値段で8500円。すいかは1個36文、1800円。五右衛門風呂に入るにはちょっとしたコツが必要。宿場町の暮らしをのぞいて、江戸時代にタイムスリップしよう。



白い牛をおいかけて

トレイス・シーモア／文

ウェンディ・アンダスン・

ハルパリン／絵 三原 泉／訳

ゴブリン書房 2023年 Eシ

逃げた白い牛をつかまえに行ったらお父さんとマッシューさんは、泥だらけ、葉っぱまみれで帰ってきた。その後も何度も挑戦するが、そのたびに男たちは散々な目にあって帰ってくる。そしてある日、その白い牛がわたしの前に現れた。牛をつかまえるドタバタ劇を、優しい口調とあたたかい絵で、コミカルに描いた絵本。



その絵ときたら!

新しい絵本の時代をつくった

コールデコット

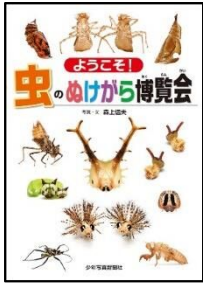
シェル・マーケル／文

バーバラ・マクリントック／絵

福本 友美子／訳 ほるぷ出版

アメリカで最も重要な絵本賞といえば「コールデコット賞」。この絵本の主人公、ランドルフ・コールデコットから名づけられた賞だ。19世紀後半のイギリスで、絵本の世界に新しい時代をもたらした画家の人生が、色あざやかで軽やかな絵で描かれる。コールデコット自身の絵も収録。

裏へ続きます



ようこそ!虫のぬけがら博覧会

森上 信夫／写真・文 少年写真新聞社

2023 年 486 号

いろいろな虫たちのぬけがらが勢ぞろい。同じセミでもたくさんの種類のぬけがらをならべてみると、ちがうところがみえてくる。ぬけがらの集め方や形の整え方も書かれている。みんなもぬけがらを集めてみよう。



おとな体験授業?

ながわ ちひろ／作

アリス館

2023 年 913 ナカ

今日の特別授業は「おとな体験授業」。なりたい仕事を紙に書いてビーカーに入れると…あれ? まんが家になりたいあすかは、りゅうじのなりたいラーメン屋になっちゃった! りゅうじは美容師に。みんなのまぜこぜおとな体験。

おとなになるのが楽しみになるおはなしが5つ。



チベットのむかしばなし

しかばねの物語

星 泉／編訳 蔵西／絵

のら書店

2023 年 92 シ

罪を犯してしまったつぐないに、しかばねを墓場から連れ出さなければならなくなったデチュー・サンボ。その道中口をきいてしまえば、しかばねは墓場へともどってしまう。しかし、しかばねの語る昔話が面白く、サンボはついつい口をすべらせ最初からやり直しに。

しかばねが次々とおもしろい話を語る、チベットの昔話。



イチからつくるコーラ

コーラ小林／編 中島 陽子／絵

農山漁村文化協会 2023 年 58 イ

タクヤ、ケン、サクラ、チアキの4人はコーラについて調べてみた。いつできたの? コカ・コーラとペプシコーラのちがいは? クラフトコーラってなに?

コーラを知って、イチから自分だけのコーラをつくってみよう。



ひみつだけど、話します

堀川 理万子／作・絵

あかね書房 2023 年 913 ホリ

ひみつだけど、教えてあげる。右左、右左…目玉をすばやく動かすと電車の中がとまって見えるよ。

電車が好きな足立さん、ひもアメが食べたい小川さん、昆虫博士のうっちゃん、学校がきらいな上田さん。

3年3組の4人の放課後をちょっとだけのぞいた物語。



ブックキャット

ネコのないしょの仕事!

ポリー・フェイバー／作

クララ・ヴリアミー／絵

長友 恵子／訳 徳間書

第二次世界大戦下のロンドン。のらネコとして暮らしていた黒ネコのモーガンが、出版社の看板ネコとして働くことに。ブックキャットとしていそがしく働きながら、近所ののらネコたちのリーダーとしても大活躍。悲しい出来事もあるけれど、明るく生きるネコたちの物語。楽しいさし絵もいっぱい。

大人の方へ

自分で選び、自分で読むことが増える小学校中学年の時期に読んでもらいたい本のリストです。自分の興味がある分野や、共感できる登場人物たちの出てくる本に惹かれます。ちょっと難しそうだなと尻込みをしている時は、最初是一緒に読んであげるなど少し後押しをしてあげてください。

※選定にあたっては、おはなし会ボランティア「福岡おはなしの会」にご協力いただきました。

モデル児童図書リスト(小学5・6年生)

令和7(2025)年4月発行 福岡市総合図書館 こどもとしょかん

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-7-1 TEL 092-852-0621 <https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>



なんてくさいんだ!
ロンドンを救ったジョゼフの物語
コリー・ペフ／文
ナンシー・カーペンター／絵
金原 瑞人／訳 あかつき教育図書
2023年 Eナ

1853年ロンドン。感染症コレラが大流行し、うんちであふれ悪臭を放つテムズ川。その原因は下水道だった！
この難問を見事に解決した土木技師ジョゼフの伝記絵本。
画期的な下水道整備に取り組んだジョゼフの奮闘が、ユーモアあふれる絵とともに描かれている。



**アフリカで、
バッグの会社ははじめました**
寄り道多め仲本千津の進んできた道
江口 絵理／著 さ・え・ら書房

リッチー・エブリディのバッグは華やかで魅力的。
色鮮やかなアフリカンプリントの布を使い、バッグを作る会社をウガンダで起業した仲本千津さん。目指していた医者ではなく、起業をすることで「人の命を救いたい」という目標を実現させていく仲本さんの姿を描いたノンフィクション。



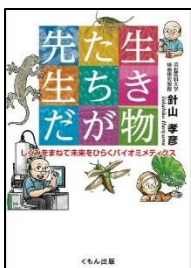
生まれかわるヒロシマの折り鶴
佐藤 真澄／著 汐文社
2023年 31サ

被爆地広島には、平和のシンボルである折り鶴が年間10トンも集まる。2001年、焼却処分されていた折り鶴を永久保存すると、市長が発表した。しかし、保存にはコストがかかる。「保存」か「処分」か、それとも別の道を探すのか。
折り鶴にこめられた想いを大切にしながら、この難題に挑戦する人々の取り組みを描いたノンフィクション。



**元気?
世界の子どもたちへ**
長倉 洋海／著 朝日新聞出版
2023年 38ナ

世界各地で出会った子どもたちに「やあ、元気?」と声をかけ、写真を撮り続けてきた長倉洋海さん。彼が出会ったたくさんの子どもたちと、その国や暮らしについても詳しく知ることができる。
さあ、世界中の友達に会いに行こう!



生き物が先生だ
しくみをまねて未来をひらく
バイオミメティクス
針山 孝彦／著 安斉 俊／画
くもん出版 2023年 46ハ

ヨーグルトがカップのふたの裏につかないのは、ハスの葉が水をはじくしくみを活用しているから。そんな生き物が持っているしくみをまねてモノづくりに生かすことをバイオミメティクスという。

ごく小さなものを見ることができる電子顕微鏡で、生き物のしくみの謎にせまり、その構造を活用してできる、ものすごい発明を紹介する。



真昼のユウレイたち
岩瀬 成子／作 芦野 公平／絵 偕成社 2023年

“おおおばさん”の家にいる女の子のユウレイ。いつも見守っている両親のユウレイ。ブランコにすわっているアメリカ人兵士のユウレイ。和室にいるネコのユウレイ。
全然こわくはないけれど、ちょっぴり切ない気持ちになるお話4編。

裏へ続きます



どすこい!

森 埜 こみち／作 佐藤 真紀子／絵
国土社 2023 年 913 モリ

駄菓子屋のわしやのじいさん、むかし、相撲取りだったんだ。

6月の相撲大会での負けを秋の大会で返上したい 6年生の凡と健太は、気難しいことで有名なわしやに相撲を教えてもらおうとする。最初は相手にされないが、毎日店のくじを引くからと食い下がるふたりにわしやが言った。「四股踏んでみろ」。



起業家フェリックスは12歳

アンドリュー・ノリス／著
千葉 茂樹／訳 あすなろ書房
2023 年 93 ノ

絵が上手なモーが描いたカードをインターネットで売ったらどうだろう。フェリックスの思いつきが、周りの友達を巻き込んでビジネスは急成長。しかし、時々刻々とかわる状況に予測不能のトラブル。困ったフェリックスはついに大人達に相談するが、その反応は?!

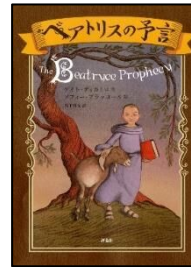


パフィン島の灯台守

マイケル・モーパーゴ／作
ベンジー・デイヴィス／絵
佐藤 見果夢／訳 評論社
2023 年 93 モ

大嵐の夜、ニューヨークからリバプールに向かう船が座礁した。パフィン島の灯台守のベンに乗っていた5歳の男の子と乗客全員を救助した。12年後、少年はベンに会いに旅に出る。

灯台守の老人と少年の時を超えた友情が描かれる。



ベアトリスの予言

ケイト・ディカミロ／作
ソフィー・ブラッコール／絵
宮下 嶺夫／訳 評論社
2023 年 93 デ

記憶をなくした少女ベアトリスは、「少女が悪しき王を追放する」という予言のため、王の兵に追われていた。くじけない勇気と物語の力で、4人の仲間(3人と1頭のヤギ)と共に悪政に立ち向かう少女の冒険ファンタジー。

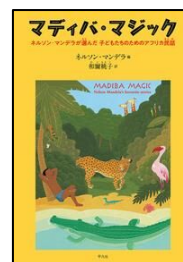


アンナの戦争

キンダートランスポートの少女の物語

ヘレン・ピーターズ／作
尾崎 愛子／訳 偕成社 2023 年 93 ピ

第二次世界大戦中、たったひとりでイギリスに渡ることになってしまったユダヤ人少女アンナ。里親一家の子どもたちと、ひとりのイギリス人兵士を納屋で見守る。ところが、彼がドイツ語をしゃべっているのを偶然耳にしたアンナ。果たして彼はいったい何者なのか?



マディバ・マジック

ネルソン・マンデラが選んだ
子どもたちのためのアフリカ民話

ネルソン・マンデラ／編
和爾 桃子／訳 小学館
2023 年 99 マ

「魔鳥の歌」「王さまライオンの贈り物」「オオカミとジャッカルと樽いっぱいバター」。悪知恵に長けた生き物がはるかに強い敵をだます。魔法の言葉は死や解放をもたらす。

豊かで不屈なアフリカ魂を感じさせるお話32編。

大人の方へ

興味の対象が現実的になり、読む本の興味も多様化する高学年の時期に読んでもらいたい本のリストです。伝記、ファンタジー、現代の物語など幅広くご紹介しています。ぜひ、1冊子どもに手渡してみてください。

※選定にあたっては、おはなし会ボランティア「福岡おはなしの会」にご協力いただきました。